

はじめに

高等言語教育研究所長 江澤照美

高等言語教育研究所年報『ことばの世界』を今年度も発行する。通算で第 7 号となる。本号には寄稿された論文 3 編、研究ノート 4 編、実践報告 1 編のほか、本研究所の活動報告を掲載している。寄稿者ならびに今年度の本研究所の活動にご参加ご協力いただいたすべての皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成 26 年(2014 年)度の本研究所の以下の通りである。活動内容の詳細については、本号の活動報告のページをそれぞれご参照いただきたい。

1. 公開講演会の開催
2. 言語教育研究会の開催
3. 多言語競演レシテーション大会の開催
4. 外国語多読用図書の充実
5. 英語・スペイン語多読活用の推進
6. CALL 教室を利用した外国語自主学習支援
7. 外国語授業改善研修会の開催
8. 学生自主活動支援
9. 言語資料の展示

グローバル人材育成推進事業の中核をなす iCoToBa(多言語学習センター)との連携は昨年度からの検討課題のひとつであった。今年度、第 16 回言語教育研究会において、iCoToBa 教員の研究発表(外国語学部教員との共同研究によるものも含む)や参加があった。年報にも iCoToBa 教員の教育実践報告を掲載した。今後もこのような形で、iCoToBa との連携を推進することは、言語教育研究会の内容充実のみならず本学の外国語教育のさらなる発展につながるに違いない。

学生の iCoToBa 利用頻度は多少個人差があるようだが、熱意ある担当教員のおかげで多くの学生が留学準備や留学後のブラッシュアップなどのために、正規の授業外の学習を継続している。iCoToBa の活動に加えて、本研究所が従来から実施している活動に参加することにより、本学の学生は日本にいながらにして言語運用能力を伸ばしうる環境に身を置いていることになる。

本学図書館に専用のコーナーが設置されている多読図書は今年度も学生の利用が順調に続いている。利用が多い一部の図書は傷みが目立つようになったとの図書館からの報告を受け今年度買い換えを実施した。CALL 教室を利用した外国語自主学習支援も今年度活動を継続している。このような学生の自律的な外国語学習のバックアップを、今年度も運営委員や多くの方々の協力により成し遂げることができた。

学生自身がおこなう勉強会等の自主活動支援については毎年前期 6 月に募集をかけ、きちんとした学習計画案を提出した学生有志グループに研究所として支援をおこなっているが、今年度

から前期後期各 1 回募集をかけることにした。また、これまで支援対象は勉強会に活動を限定していたが、今年度より教育研究に関する活動についても申請があれば運営会議で審議し適切と認めたものについて助成をおこなうこととした。その成果は言語教育研究会にて発表を義務づけるのは従来と同様である。

本年報末尾には研究所ウェブサイトにある『ことばの世界』の原稿執筆要項を転載した。執筆を希望される方はご参照いただきたい。

平成 26 年(2014 年)度 研究所会議構成員

研究所長	江澤 照美 (ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)
外国語学部長	吉池孝一 (中国学科)
教育研究審議会委員	広瀬恵子 (英米学科)
および下記の運営委員	

英語教育部門	宮浦国江 (英米学科)
日本語教育部門	東 弘子 (国際関係学科)
CALL / ICT 部門	大森裕実 (英米学科)

運営会議構成員(運営委員)および担当

所長代理	堀田英夫 (ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)
研究会・講演会	月田尚美 (中国学科)
レシテーション大会	高橋慶治 (国際関係学科)
	森田久司 (英米学科)
『ことばの世界』編集	石野 好一 (ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)
学生自主学習支援	平井 守 (ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)
展示	吉池 孝一 (中国学科)

担当職員	山田登志子 (学務課) [平成 26 年 4 月から 10 月まで]
	曾根原誠 (学務課) [平成 26 年 11 月から平成 27 年 3 月まで]

研究所ウェブサイト <http://www.for.aichi-pu.ac.jp/gengoken/index.html>